

全体像把握の必要性確認ワーク 仕様書

1	ワークテーマ	■全体像把握の必要性を知る
2	ワーク目的	■個別視点だけではなく全体像を知る視点の必要性を知る
3	ワーク対象者	■不問(新入社員、中堅、管理職)
4	ワーク所要時間	■55分
5	対象人数	■12名以上(ワークの特性上6グループ必要) 人数が多い場合は、ブロックに分けて実施可能(6グループを1ブロック)
6	得られる効果	■個人、個別ではなく全体に視点・視野を広げる必要性について理解します。 ■自身と異なる考えや意見を受け入れることの大切さについて理解します。
7	特徴	■楽しみながら気づきや学びを得ることができます。 ■グループ内、グループ間でコミュニケーションを取りながら進めるワークのため 研修開始時のアイスブレイクにお勧めです。
8	受講形式	■集合型
9	準備物 ファシリティ、ツール	【ファシリティ】 ■プロジェクター、スクリーン ■マイク(広さに応じて) 【準備物】 ■タイマー 【受講者持参物】 ■筆記用具
10	実施講師要件	■ファシリテートができること
11	その他	-
12	本プログラム資料 内容物	【実施ガイド】 1. 仕様書(Excel 1ページ) 2. タイムテーブル詳細(Excel 1ページ) 3. 研修実施ガイド(Word 2ページ、残りはPowerPointのノートに記載) 【プロジェクター投影資料】 1. 投影資料(PowerPoint 6ページ) 【受講者配布資料】 1. カリキュラム(Excel 1ページ) 2. 受講者配布資料(PowerPoint 2ページ) 3. 連想ゲームグループ配布資料(ゲーム開始時配布) (各グループPowerPoint1ページ)

※購入は研修の質を担保するため、「10. 実施講師要件」を満たす方に限ります。